

被災地へのサポート

8月5日、熊本地震応急給水活動へ向かう職員へ、被災された方々に寄り添った活動となるよう言葉をかけ、見送りました。

安来市からは給水活動のほか、罹災証明書発行業務などにも職員を派遣しています。被災地の皆さんが一日も早く日常を取り戻せることを願っています。



八代市の介護老人保健施設などで給水活動を行いました。



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



まちの話題や
出来事を
紹介します

たうんとぴっくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



ハワイ文化に親しむイベント「Lilikoi Festival」が行われました。県内外から15団体が出演し、フラダンスやタヒチアンダンス、ウクレレ演奏などを披露。色鮮やかな衣装と多彩なステージが会場を華やかに彩りました。
8月2日：アルテピア



新しい吉田橋が完成

▲架け替えが完了した吉田橋。8月31日から開通しています。

市道安来港飯島線の道路改良工事で架け替えを進めていた吉田橋の工事が完了し、8月28日に竣工記念式典を行いました。市関係者や地元自治会、用地提供者、施工業者などが出席し、今後の橋の安全と利用者の無事故を願うとともに、新しい橋の完成を祝いました。

沿道に小中学校がある安来港飯島線は、多くの児童・生徒が通学路として利用し、車の交通量も多い道路です。今回、橋の両側に歩道を整備し、車道を広げたことで、安全性と利便性が向上しました。

8月6日、市給食センターで「親子料理教室」を開催しました。食べることの大切さや給食への理解を深めてもらうことを目的に、給食センターが主催しました。

野菜の皮むきから盛り付けまで、子どもたちが中心に調理。完成した料理を味わいながら、クイズ形式で旬の夏野菜に含まれる栄養について学びました。参加した田城暖和さん（十神小5年）と礼和さん（同小3年）の兄弟は「家でも時々手伝っている。今日も協力して上手に作れた」と話しました。



▲「夏野菜カレー・元気サラダ・フルーツポンチ」を手際よく作ることができました。

暑い夏を乗り切ろう



全国の球児が熱戦

▲力強い打撃を見せる福知山市立日新中学校（京都府）の選手。

8月18日・19日、安来運動公園野球場で「第48回全国中学校軟式野球大会」の1・2回戦が行われました。大会は安来・出雲・松江の3市4会場で開催され、安来市では全国中学校体育大会の競技が初めて行われました。

安来会場では2日間で計4試合を実施。全国各地の予選を勝ち抜いた中学生球児が白球を追い、熱戦を繰り広げました。

大会は22日に決勝を迎え、駿台学園中学校（東京都）が全国の頂点に立ちました。

8月28日、道の駅あらエッサで「やすぎ救急フェスタ」を初めて開催しました。9月9日の「救急の日」や救急医療週間を前に、救急への関心を高めてもらおうと企画したものです。

当日は、自動心臓マッサージ器を使った救急活動の実演や救急車の展示などを実施。応急手当の体験では、胸骨圧迫の深さや速さを画面で確認しながら、正しい方法を学びました。訪れた人たちは、実演や体験を通して、救急活動や応急手当への理解を深めました。



▲救急隊員の動きをまねしながら、胸骨圧迫のポイントを確認しました。

救急に触れて、体験して

8月23日、アルテピアで市民参加型ダンス公演「たたら」が行われ、6月から練習を重ねた9人の参加者が舞台に立ちました。

参加者は、たたら製鉄で鋼が生まれる営みを、人が大切なものを生み出す営みに重ね、風や炎、炉などをコンテンポラリーダンスで表現。新しい視点から、たたらの世界を描きました。

公演後、観客からは「たたら製鉄の何を表現しているのか考えながら見ていた。不思議な世界観でした」といった感想が寄せられました。



▲女人禁制とされるたたら場。参加者9人は偶然にもさまざまな世代の女性たちでした。

不思議な舞台「たたら」



▲スタンプを集めると、先着でオリジナルグッズがもらえます。※なくなり次第終了

ドラマから島根の旅へ

9月1日から11月8日まで、「VIVANT × SHIMANE 特別任務スタンプラリー」が開催されています。

TBS系日曜劇場『VIVANT』は県内5市町でロケが行われ、第2シーズンでは安来市総合文化ホールアルテピアと安来第一病院がロケ地となりました。

このスタンプラリーは、ロケ地ゆかりの5市町を巡り、作品と島根の魅力に触れてもらおうと企画されました。市内では観光交流プラザと安来節演芸館にスタンプスポットがあります。